

2020兵庫大会記念 高校放送コンテスト実施要項

主催 兵庫県高校教育研究会視聴覚部会

後援 兵庫県教育委員会

兵庫県高等学校文化連盟

1 大会趣旨

NHK杯全国高校放送コンテスト及び同兵庫県大会の開催が中止となり、高校3年生が作成したラジオ及びテレビ番組やアナウンス朗読のこれまで取り組んできた成果の発表の場を提供するために、今年度に関り代替の独自大会を開催する。

2 実施方法

新型コロナウイルス感染症の対策として三密を防ぐため、非公開でメディアによる審査を実施する。(決勝大会は、ライブ審査を予定)

3 参加資格

- (1) 兵庫県高校放送コンテスト委員会に部登録をしている放送部・放送委員会の生徒であること。(登録がまだの場合は先に登録手続きをすませること)
- (2) ラジオ番組及びテレビ番組は現時点で制作途中であるものとし、新たな制作はしないこと。また、アナウンス・朗読は各個人での録音を原則とする等、感染の危険が想定される活動を行わずに提出できるものであること。

4 エントリー方法及び提出締切

事前のエントリーは行わず、メディアと進行表(原稿)および申込用紙(別紙)の提出をもってエントリーを受け付けたこととする。

(1) 提出締切日

- ① アナウンス部門・朗読部門・ラジドキュメント部門・創作ラジオドラマ部門

6月17日(水) 必着

- ②、テレビドキュメント部門・創作テレビドラマ部門・研究発表部門

6月19日(金) 必着

※ 各部門の締切日以降は受け付けないので注意すること。

(2) エントリー料 無料

(3) 提出先 〒675-1127 加古郡稲美町中一色 594-2

兵庫県立東播磨高校

兵庫県高等学校学校教育研究会視聴覚部会放送文化部長 大江 真理 宛

5 部門ごとの規定について

原則としてNHK杯全国高校放送コンテストの規定と同様とする。(大会要項参照)

ただし、NHK杯全国高校放送コンテストとの相違点は以下の通りである。

(1) 《アナウンス部門・朗読部門》

各校各部門のエントリーは5名以内

(3年を優先するため2年は各部門最大2名まで、1年は不可)

1人1枚ずつCDに録音して提出(オーディオCD ラジオ番組と同じ形とする)

各部門の時間は、1分10秒以上1分30秒以内とし、エントリー番号は読まない。

原稿提出は1部のみ。(NHK杯の原稿用紙を用いて提出)

(2) 《番組部門》

各部門のエントリーは2本以内

それぞれ作品1部(バックアップ不要)と進行表1部を提出する。

(3) 《研究発表部門》

進行表1部とパワーポイントデータCD1枚を提出する。

なお、ライブ発表ではないので、その他の資料もあれば一緒に提出すること。

6 権利処理について

放送はされないが、公平性を保つため、権利処理が必要な場合は必ず行うこと。ただし、現在の情勢を鑑み、取材許諾はもらっているが、許諾書にサインをもらいに行くのが難しい場合は、顧問がその旨記入した書類を添付することで代用可とする。

JASRAC等の許諾をNHK杯用にとっている場合は、そのまま大会名を変更する必要はない。

7 審査と大会日程について

(1) 予選(予備審査)

6月20日(金)東播磨高校において、兵庫県高等学校教育研究会視聴覚部会放送文化部理事会(放送文化部門理事を中心とした審査委員による予備審査会)を非公開で行い、決勝進出者(校)を選考する。

アナウンス部門・朗読部門	各10名
ラジオドキュメント部門、テレビドキュメント部門	各4本
創作ラジオドラマ部門、創作テレビドラマ部門	各3本
研究発表部門	1本

選考結果は、兵庫県高等学校教育研究会視聴覚部会のHP上に掲載するとともに、後日、各校に講評と記念品を郵送する。

(2) 決勝大会

新型コロナウイルス感染症の状況が改善され、県教育委員会から対外試合が認められる状況になれば、決勝進出者（校）のみ参加して決勝大会を実施する。

8月1日(土) 稲美町コスモホール

※状況に応じて、8月末までを期限に延期の可能性がある。

《アナウンス部門・朗読部門》 ライブ発表（当日課題を含む）を実施する。

専門職を含む審査員で再審査して順位を確定する。

《番組部門》 ステージ上で、司会者から制作代表者にインタビューするとともに、専門職を含む審査員で再審査して順位を確定する。

《研究発表部門》 代表校によるライブ発表を実施する。

※8月末までに決勝大会の実施が困難な場合は、予選（予備審査）の点数により順位を確定し、兵庫県高等学校総合文化祭放送文化部門の大会の機会に表彰式を行う。

(3) 表彰

NHK杯高校放送コンテストとは、別のトロフィーや賞状、副賞を贈る。